

夢におかって～笑顔の花を咲かせよう！

山根草

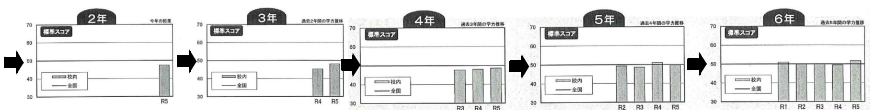
柴田町立船迫小学校
学校だより 第10号
令和5年11月30日発行
柴田町西船迫3-1-3
TEL 55-5394

2023年 残り一ヶ月となりました

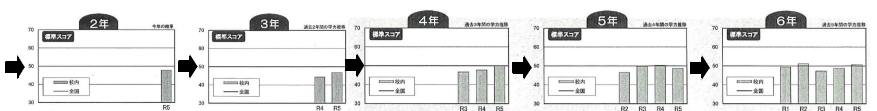
12月13日は学力調査 1年間の学習の習熟を調査します

2023年も残り一ヶ月となりました。11月の下旬まで25℃近くまで気温が上がる日がありましたが、あっという間に紅葉も進み、蔵王の山々は雪化粧を始めました。秋のつるべ落としという言葉がありますが、今年はとても短い秋だったような気がします。6年生では間もなく卒業文集の作成が始まるなど、各学年で卒業や次の学年に向けてのまとめや準備の期間に入っていきます。学習面は、12月13日に町の標準学力調査が行われます。4月から12月までの学習でどれだけの力が付いたのかを調査します。右の図は、2年生から6年生までの4月実施の標準学力調査の国語と算数の学年の平均正答率と、全国の小学生の平均正答率を年度毎に比較したものです。矢印➡が指す線が全国の小学生の平均正答率です。学年が上がると平均正答率が上がり、中には全国平均を超えた学年もあります。昨年度より、柴田町は宮城県の学力向上(算数)の研究指定を受けています。本校では今年度、思考力を育む授業づくり、授業での学習を身に付けるための家庭学習のあり方、ぐんぐんタイムでの効果的な学習、基礎的な学習の習熟を目指したレベルアップウィークでの学習などに取り組んできました。特に授業では、「自分の考えをノートに書くこと」や「言葉や式、表や図

国語



算数



などを使って自分の考えを表すこと」「進んで手を挙げて発表する」などに力を入れています。これらの取組の効果が、標準学力調査に現れることをとても期待しています。学校では、12月8日からレベルアップウィークで、標準学力調査の前に算数の復習を行います。ご家庭でも復習を行うよう声掛けいただきますようお願いいたします。

先生方も真剣に勉強をしています
11月17日に、大河原教育事務所より先生方をお招きして、算数の授業づくりについての勉強会を行いました。1・4・6年生で研究授業を行い、放課後に研究授業の授業検討会を行いました。授業検討会では、様々な意見が出され、授業を行った先生にとっても、参観した先生にとっても良い勉強の機会となりました。普段はそれぞれの先生が指導方法を一人で研究するとともに、授業の計画を立て準備をして授業を行っています。先生方は児童の学習内容の理解や学力の向上を考え、1時間の授業をつくるためにたくさん時間を掛けています。先生方とともに、児童の皆さんにも1時間1時間の授業に真剣に取り組む、学力を伸ばしてほしいと思います。

学力向上マネジメント推進協議会

の先生方が授業の様子を視察



11月20日に、宮城県教育庁より、学力向上マネジメント推進協議会の先生方が来校され授業を参観いただきました。全学年の児童が、自分の意見をノートに書く様子を見て、自分の言葉でしっかりと取り組んでいることや、落ち着いて授業に取り組んでいる学年が多いことに関心されていました。

● 教頭・鈴木 つぶやき

27年間中学校で数学を教えてきました。中学校は覚えることが多く進度がとても早いです。算数の学習が身に付いていない生徒の多くが、新しい学習を身に付けることに苦労していました。また、それと同様に家庭学習を一人で行えるかどうか、中学校の学習成績に関わってくると思います。成績に関わると言うことは、つまり、自分の高校受験や進路に関わってくるのです。丁寧に、集中して学習に取り組む習慣は小学生から身に付けてほしいです。授業で「学習内容がわかる」、家庭学習で「学習内容ができる」にして力を付ける習慣の確立を期待します。

先生方も真剣に勉強をしています

11月17日に、大河原教育事務所より先生方をお招きして、算数の授業づくりについての勉強会を行いました。1・4・6年生で研究授業を行い、放課後に研究授業の授業検討会を行いました。授業検討会では、様々な意見が出され、授業を行った先生にとっても、参観した先生にとっても良い勉強の機会となりました。普段はそれぞれの先生が指導方法を一人で研究するとともに、授業の計画を立て準備をして授業を行っています。先生方は児童の学習内容の理解や学力の向上を考え、1時間の授業をつくるためにたくさん時間を掛けています。先生方とともに、児童の皆さんにも1時間1時間の授業に真剣に取り組む、学力を伸ばしてほしいと思います。



授業検討会では、様々な意見が出され、授業を行った先生にとっても、参観した先生にとっても良い勉強の機会となりました。普段はそれぞれの先生が指導方法を一人で研究するとともに、授業の計画を立て準備をして授業を行っています。先生方は児童の学習内容の理解や学力の向上を考え、1時間の授業をつくるためにたくさん時間を掛けています。先生方とともに、児童の皆さんにも1時間1時間の授業に真剣に取り組む、学力を伸ばしてほしいと思います。

強い気持ちを持って走りました 持久走記録会開催

インフルエンザの猛威により、1度は延期になった持久走記録会でしたが、11月20日(月)に実施しました。(※3年生は11月29日に再延期) インフルエンザや風邪が治ったばかりの状況の中、記録会に臨んだ児童もいましたが、多くの児童が一杯走り完走することができました。この記録会に向けて、10月の中旬から体育の授業や業間休みのランランタイムで持久走の練習をしてきました。苦しさを我慢しながらも走る姿からは児童の頑張る気持ちがとても伝わってきました。また、教室前の廊下の壁面に掲示された持久走カードには、練習で走った周回数を記録してきました。ここからも児童が頑張っている様子を知ることができました。持久走だけではありませんが、ひたむきに取り組む船迫小の児童に感心するとともに、船迫小児童を誇りに思います。

一方で、競い合いに熱が入りすぎて、トラックの内側を走ったり、コースからはみ出して走ってしまったりするなど、ルールを守れなかった事もありました。

どんなスポーツでも、ルールにしたがって競い合うことが大原則であり、守るからこそ勝利の喜びや記録更新の喜びを味わえるものであると考えます。学校としても、来年の持久走に生かしていくとともに、いろんな活動を通してルールを守って活動を行うことの大切さを児童へ伝えていきたいと考えます。



各学年の優勝者の声

1年生男子

「1位をとった
じきゅうそうきろくかい」
1年2組 よしだ こうせい

1位か2位になるというめあてをたてました。かぞくみんなにおうえんされました。いつもよりはやくはしれました。1位がとれてたのしいじきゅうそうきろくかいでした。(児童作文)



1年生女子

「たのしかったじきゅうそう」
1年1組 あしの こあ

わたしは、れんしゅうのときに2いになったこともありました。くやくくて、つきこそは1いとろうとおもいました。本ばんは1いで、かぞくにほめられてうれしかったです。(児童作文)

2年生男子

「じきゅう走きろく会について」
2年1組 よしだ はる

ぼくが、じきゅう走きろく会でがんばったところは、テンポよく走る事です。一歩でもふみはずしたら、じゅんいがさがるかもしれないから、がんばりました。(児童作文)



2年生女子

「1位がとれたじきゅう走きろく会」
2年1組 いのうえ まひろ

わたしは、じきゅう走きろく会のコースで、がんばった場所があります。それは、さか道です。さか道はたいへんですが、はやいスピードで走れたと思いました。(児童作文)

3年生男子

「ゆめがかなった」
3年1組 戸松 陽翔

ぼくは、1年生の時は2位、2年生では4位だったので、ずっと1位になりたいと思っていました。お母さんから1位か2位を取ってと言われて、ぜったい取りたいと思いました。やっとゆめがかなって、とてもうれしいです。(児童作文)



3年生女子

「持久走記ろく会を終えて」
3年2組 櫻庭 心晴

私が持久走記ろく会がんばったことは、全力で走り切った所です。ひさしぶりに長きよりを走るの歩きそうになったけれども、歩くのをがまんして走り切ることができてうれしかったです。(児童作文)

4年生男子

「1位になったよ」
4年1組 高橋 諒大

今回、ぼくは初めて1位になりました。うれしかったことは、練習で1位がとれて、本番でも1位がとれて、良い記録が出せたことです。

来年も1位をとって、5年生の最高記録を出したいです。(児童作文)



4年生女子

「がんばった持久走をふり返って」
4年3組 長谷川 すみれ

わたしが持久走でがんばったことが2つあります。1つ目はスタートダッシュです。2つ目は坂です。坂で体力がなくなっていたらぬかされていたと思うからです。最後に、校庭をラスト一周するときみんながおうえんしてくれなかったら、1位になれなかったと思うので、おうえんの力はすごいなと思いました。(児童作文)

5年生男子

「あきらめずにチャレンジ!」
5年2組 堀内 竜之介

ぼくは、持久走大会でスタートした直後に転んでしまいました。でも、5分35秒を切ると、家族から商品もらえるので、すぐ立ち上がり、見事5分35秒を切ることができました。とてもうれしかったです。来年も1位をとれるようにがんばりたいです。(児童作文)



5年生女子

「持久走大会を終えて」
5年1組 佐藤 衣菜

持久走大会が終わって、一番うれしかったことは、自己ベストをことう新でできたことです。1秒速くなって、とてもうれしかったです。来年、6年生になったら、5分を切って、もっと速く走りたいです。今回の走りを生かして、がんばりたいです。(児童作文)

6年生男子

「小学校最後の
持久走記録会を終えて」
6年1組 尾本 響

11月20日、ぼくはついに、念願の1位を取ることができました。ぼくは、ほぼ毎朝父とランニングをしています。その成果が、持久走記録会に出ているのだとぼくは思います。これからも、毎朝ランニングを続けていきたいとします。(児童作文)



6年生女子

「持久走記録会を終えて」
6年2組 大槻 奈々海

私は持久走記録会で、新記録を残すことが目標でした。初めての5・6年合同練習では、良いタイムが出なくてくやしい気持ちでいっぱいだったけれど、練習を積み重ねていくうちに少しずつタイムを縮めることができました。本番では、自己ベストを出せませんでしたが、1位を取ることができました。最後の持久走記録会で良い記録を出せてうれしかったです。(児童作文)

持久走記録会の反省や感想を読むと、たくさんの児童が持久走記録会に向けて目標順位や目標タイムを持ち、それに向けて一生懸命に努力を積み重ねることができたようです。この目標達成に向けて努力を積み重ねた経験は、将来の自分にとって大きな力となるはずで、進路をどのように進めるかによって異なりますが、どのような進路にも乗り越えなければならぬ壁があるものと思います。自分で知識や技能を持っていても、力や気持ちが伴わなければ乗り越えられるとは限りません。小学校生活には、チャレンジすることができる様々な活動があります。今後も、自分の課題に向かおうとする力や気持ちを様々な活動の中で育てていきたいと考えます。

仙台大学の学生に向けて体育の実技研修会で指導

11月21日に本校で、仙台大学の学生に向けに小学校体育実技研修会を開催しました。本校からは、3名の先生が講師として大学生に指導を行いました。大沼先生が5年生の体育(マット運動)の授業を公開、尾形先生がフラッグフットボールとマット運動の実技指導を、小森谷先生が体育の授業についての講演会を行いました。小学校の先生を目指している大学生にとって、実際に見て、体を動かして、聞く研修会は、とても勉強になったようです。今年度は、その他にも教育実習生として3名の大学生が本校で教育実習を行いました。将来、教育実習や勉強のために、本校にもどってくる児童もいるかも知れませんが、誰が来るのか今から楽しみです。

